

第 80 回 日本農業教育学会大会

特別講演・総会・研究発表会・高校生オンライン口頭発表 プログラム

主催：日本農業教育学会

協力：秋田県立大学

1. 期日 2022 年 9 月 3 日（土）

2. 会場 zoom によるオンライン開催

3. 事務局担当

実行委員長： 神田啓臣（秋田県立大学 生物資源科学部）

実行委員： 露崎 浩・高津英俊（秋田県立大学 生物資源科学部）

事務局連絡先等：〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村字南 2

秋田県立大学大潟キャンパス

TEL : 0185-45-2026 (代) FAX : 0185-45-2377 (代)

E-mail : kanda@akita-pu.ac.jp

4. 日程

9:00～11:05 研究発表会

11:10～12:25 高校生オンライン口頭発表

12:25～13:00 昼食休憩

13:00～14:00 総会

14:05～15:35 特別講演

15:45～17:50 研究発表会

18:00～19:00 交流会

5. 特別講演 14:05～15:35

テーマ：大学におけるスマート農業教育－秋田県立大学の新たな取り組み－

講演者： 山本聰史 氏（秋田県立大学生物資源科学部 准教授）

低コストなスマート農業の教育実践 一手作り農業ロボットを動かすまで－

上田賢悦 氏（秋田県立大学生物資源科学部 准教授）

スマート農業技術導入のサポート人材を育成する社会人教育プログラム

司 会： 小松崎将一 氏（茨城大学農学部 教授）

6. 研究発表会

zoom の画面共有機能を利用して発表

発表時間 12 分・質疑応答 3 分

9:00～10:00 座長：藤井道彦（静岡大学）

1. 総合的な学習の時間における栽培学習の充実を図る ICT 活用方法の検討
—滋賀県在来‘杉谷なすび’・‘杉谷とうがらし’の栽培学習を通して—
○森 太郎¹, 寺坂圭吾¹, 松尾幸澄², 藤田智恵², 池田修一², 久保加織¹
(滋賀大学教育学部¹, 甲賀市立甲南第二小学校²)
2. 土壤微生物を活用した容器栽培での野菜づくり技術の確立
○平尾健二¹, 卷木優依², 吉田俊道³
(福岡教育大学¹, 福岡教育大学元学生², NPO 法人大地といのちの会³)
3. 中学校技術科における、小学校での栽培経験から課題を考え、より品質の良いミニトマトを目指した授業実践
○青山陽介¹, 太田弘一² (春日井市立篠原小学校¹, 愛知教育大学²)
4. 身近な材料を用いた水耕栽培教材開発の試み
○新町文絵, 糸井健太郎, 水野真二, 渡辺慶一 (日本大学生物資源科学部)

10:05～11:05 座長：森 太郎（滋賀大学）

5. 長崎県での袋栽培における植付時期の違いがジャガイモの生育および収量に及ぼす影響
○鎌田英一郎 (長崎大学)
6. LED と寒冷紗が虫害に着目したコマツナの生育に及ぼす影響の教材化
○藤井道彦, 遠藤真希 (静岡大学教育学部)
7. ニゲラのアントシアニン色素分析と教材的利用
○渡辺慶一, 五十嵐彩花, 水野真二, 上吉原裕亮, 立石 亮, 新町文絵
(日本大学生物資源科学部)
8. フレンチタラゴンの液体培養法における外植体の置床方法がシート形成と不定根形成に及ぼす影響
○摺崎 宏 (大分短期大学)

15:45～16:30 座長：露崎 浩（秋田県立大学）

9. 高等学校で最新の森林計測技術を学ぶ教育プログラムの開発

－科目「森林経営」の内容「森林の計測と評価」に対応して－

○井上真理子¹, 北原文章², 山田祐亮²（森林総合研究所多摩森林科学園¹, 森林総合研究所²）

10. 農業高校におけるICT教育の一考察

○高尾勝俊^{1, 2}, 松添直隆²（長崎県立島原農業高等学校¹, 熊本県立大学環境共生学部²）

11. GAP（農業生産工程管理）の農業教育への導入について

～課題に対応した取組と学習効果の一考察～

○陳内秀樹（山口大学大学研究推進機構知的財産センター）

16:35～17:05 座長：長友大幸（埼玉学園大学）

12. 上海市の小学校の教科における農業に関する体験学習の実態と課題

○蘇 子榮¹, 三島孔明²（千葉大学大学院園芸学研究科¹, 千葉大学大学院園芸学研究院²）

13. 子育て支援事業における放課後の小学生向けの農体験活動の課題

○千葉香恵¹, 大野田琢哉², 三島孔明³

（千葉大学大学院園芸学研究科¹, 千葉大学園芸学部², 千葉大学大学院園芸学研究院³）

17:05～17:50 座長：高津英俊（秋田県立大学）

14. 高校での地域連携活動が高校生の地域意識に与える影響の検討

○中村孝二¹, 松添直隆²（熊本県立大学環境共生学研究科¹, 熊本県立大学環境共生学部²）

15. 各地域と高校生とともに植物遺伝資源の利活用を考える

～沖縄在来コムギ復活栽培の取り組み～

○玉木陸斗¹, 菊野日出彦², 平良舟江³, 下地清雄³

（東農大・院農¹, 東農大・宮古亜熱帯農場², 宮古総合実業高等学校³）

16. 日本における世界農業遺産の参加型プログラムの現状と課題

○初 宇涵¹, 三島孔明²（千葉大学大学院園芸学研究科¹, 千葉大学大学院園芸学研究院²）

7. 高校生オンライン口頭発表

zoom の画面共有機能を利用して発表

発表時間 12 分・質疑応答 3 分

11:10～12:25 司会進行：神田啓臣（秋田県立大学）

H1. アスパラガスの彩り栽培に挑戦～アスパラガスを七色に！！～

○永岡さくら、森岡美也子（広島県立庄原実業高等学校）

H2. ソバで農薬は作れる？！

○奥山琴未、川下健志郎（大阪府立農芸高等学校）

H3. ビタミンCで地域活性化を目指して！～堺から始まるSDGsの繋がり～

○白神遼人、田中七海（大阪府立農芸高等学校）

H4. 害虫の有効活用～食品化と肥料化に向けて～

○辻本隆一郎、弥園将治（大阪府立農芸高等学校）

H5. 小房づくりと消費者ニーズ

○伊達帆香（大阪府立農芸高等学校）